

整理番号：1－5

提言題名：新型コロナに伴う接触について

【提言の要旨】

私には3歳の娘がいます。取手市内のスーパーで買い物をしていると、「かわいいね」と言いながら娘の頬や手を触ろうとしてくるお年寄り（特に女性）は非常に多いです。当の本人は「身近に小さい子がいないから」「かつて自分の子どもと重なって」など言い分はあるかもしれませんが、新型コロナウイルス感染や不安な事件の絶えないこのご時世で親としては非常に不快であるとともに、「他人から触れられることは危険なこと」と教えている教育機関の働きかけとも異なります。現になんとか触れられることは回避できても、娘は「怖かった」と私に話します。スキンシップ・自己満足・良かれと思っただけのことかもしれませんが、今は時代が違います。他人から触れられること＝幼い子どもには恐怖でしかありません。SNSでも同様の被害・それを不快に思う親御さんの声が多くあがっています。どうか広報に掲載するなど注意喚起していただだけませんか。

（令和3年11月受付）

【回答の要旨】

小さなお子さんを持つ親御さんとして、日々様々なご苦勞やご心配があると存じます。特にコロナ禍においては、より多くのことに気を配らなければならず、平時とは比べものにならないほどの心身の疲勞を感じておられるだろうとお察しいたします。

今回お問い合わせいただいた「人との接触を避ける」ことにつきましては、お子様との接触に限ったものではありませんが、コロナ禍における感染防止対策として市から継続して市民の皆様をお願いしてきたところです。

現在、日本国内における新型コロナウイルス感染症の状況は落ち着いており、12歳以上では多くの方が2回のワクチン接種を完了していることもあって、感染防止対策への意識は全体的に緩みつつあることは否めませんが、海外における感染状況の悪化や新たな変異型の出現など、感染再拡大の懸念は未だに残っていることから、市としましては、「人との不要な接触は避ける」ということを含め、基本的な感染防止対策を継続していただくよう、引き続き広報とりでやホームページにてお願いしてまいります。

（健康づくり推進課 令和3年11月回答）